



なり さわ

成沢

ひろのぶ

私の約束

子どもたちと高齢者への応援歌

～第三楽章～

「ふみ みやこ文の京」を未来へ繋ぐ。

プロフィール

- 文京区本郷生まれ、49歳。
- 暁星学園幼小中高、駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了、修士（公共政策学）。
- 当時全国最年少の25歳で文京区議会議員に初当選。第37代・第40代文京区議会議長、平成17年度特別区議会議長会会長。
- 平成19年、文京区長に就任。
- 明治大学特別招聘教授、内閣府少子化危機突破タスクフォース（第2期）委員等を歴任。

「ふみ みやこ文の京」の未来を担う「子どもたち」と、地域を守り育ててくれた功労者である「高齢者」という大切な2つの世代を繋ぐ「責任世代」として、これまで「子どもたちと高齢者への応援歌」を掲げ、すべての世代に豊かな暮らしを実感していただくよう多様な施策の充実に全力で取り組んできました。

平成22(2010)年には「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち“ふみ みやこ文の京”」を10年後の将来都市像として掲げた

「基本構想」を策定し、第1期（平成23～25）実施計画では245、第2期（平成26～28）実施計画では249の計画事業を掲げ、事業の実現に全力を挙げているところです。

今年度は基本構想策定から5年目にあたり、計画期間の折り返し地点を迎えることとなりますが、文京区を輝かしい未来へ繋ぐ役割をこれからもしっかりと果たしていきます。

区政運営の基本ビジョン

社会全体が少子高齢化＝人口減少に向かう中、文京区では平成10年には人口が165,000人台にまで落ち込みました。私は「人口20万人回復大作戦!」を掲げ、様々な政策誘導を行い、その結果多くの子育て世帯に「選ばれる自治体」として発展を続け、人口がついに20万人を突破しました。出生数も1,000人台（平成10）から1,800人台にまで回復しています。

この間の人口増は生産人口＝納税義務者の増加に繋がり、税収を確保し区財政の弾力化に寄与し、区としての持続可能性を高めています。その一方で高齢化は確実に進み、高齢者数が人口の2割にあたる4万人を超えました。

そのため、新たな「地域福祉保健計画」を策定し、分野別

計画として、地域福祉保健の推進計画、子育て支援計画、高齢者・介護保険事業計画・障害者計画を策定しました。

また、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックにおいて野球・ソフトボール競技が復活すれば、東京ドームでの開催が有力視されており、文京区は開催地となります。

このような中、一人ひとりが自分らしく輝くことで、「ふみ みやこ文の京」の魅力をさらに高め、すべての区民が住んでいて良かった、これからも住み続けたいと実感し、区外の方にも是非住んでみたいと思える自治体として今後も持続可能な成長を続けていくことが求められています。

そこで私は、この4年間の区政運営の基本ビジョンを、「ふみ みやこ文の京」を未来へ繋ぐ。とします。

◎人口20万人回復!!



平成10年に165,000人台にまで落ち込んだ区の人口は、様々な子育て支援策を強化するとともに、ファミリー世帯向けの住宅供給に政策誘導を行った結果、子育て世帯の住まいの選択肢として文京区が選ばれるようになり、27年3月に人口20万人回復を達成しました。（外国人住民を除く）

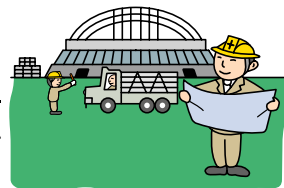
◎安全安心なまち更新中!

刑法犯認知件数、火災発生件数ともに23区で最少記録更新中! 区民防災組織の育成、年4回の避難所総合訓練、全国初の妊産婦・乳児救護所開設、空き家対策の強化など実施中。

◎区民の利用する施設が新しくなりました!

B-ぐる第2路線「目白台・小日向ルート」運行開始、小石川運動場のJFA公認人工芝化、江戸川橋体育館開館、森鷗外記念館開館、新総合体育館開館、湯島・大原・礒川・向丘の各地域活動センター建て替え、アカデミー向丘整備、第六中学校の改築、総合福祉センター・新教育センター開館、青少年プラザ b-lab 開館を実現しました。

⇒裏面に続きます



保育サービス量

平成19年
2105名
平成27年
4511名
平成31年
4763名

育成室定員数

平成19年
1102名
平成27年
1468名
平成31年
1668名

**特別養護老人ホーム
定員数**

平成19年
419名
平成28年
504名
平成30年
633名

①子育て・教育



●保育サービス量を大幅拡大（認可25カ所→50カ所へ倍増）してきましたが、さらに**認可保育園の増設**を基本に小規模保育等を加え、待機児童解消に全力を挙げます。毎年度ニーズ量を見直し、計画に反映させます。

●今後5年間に、**育成室を5室増設**するほか、**放課後全児童向け事業を小学校全校で実施**します。

●教育振興基本計画をもとに、総合教育会議の主催者として、「**文の京**」の**教育大綱**を示します。

●**誠之小学校、明化小学校の改築**とこれに次ぐ改築予定校を次期実施計画の中で示すほか、**築30年以上の小中学校の快適化工事**を進めます。

◎このほか、児童虐待防止、障害児施策、青少年健全育成、幼児教育・保育カリキュラム策定、認定こども園開設、特別支援教育の充実など。

②福祉・健康

●医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援を切れ目なく行う「**地域包括ケアシステム**」を構築します。

◎在宅医療・介護連携の推進、総合的な認知症対策の実施、介護予防の推進、生活支援サービスの体制整備、社会福祉協議会による小地域福祉活動への支援に取り組みます。

●**文京すまいるプロジェクト**の実施により高齢者等の多様な住まい方を支援します。

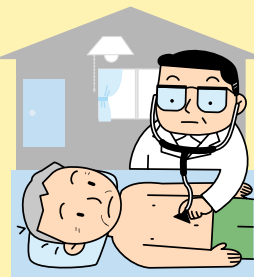
●障害者計画に基づき、文京区初の障害者入所施設が入る**総合福祉センター**を拠点に一層の支援の充実に努めます。

◎障害者基幹相談支援センターによる総合相談、障害者就労支援センターのリニューアル、福祉避難所の拡充に取り組みます。

●特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護施設、高齢者や障害者のグループホーム、日中活動系サービス施設を新たに整備します。

●「**文京区版ネウボラ事業**」（母子保健コーディネーターの配置、両親学級開催回数の増、土曜子育て相談、パパママ交流などの産前産後サポート、宿泊型ショートステイなどの産後ケア）を通して、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を進めます。

●子どもを望むすべての人に対して、健康の維持・向上と妊娠・出産の正しい知識の普及や男性不妊検査費助成事業等**ハッピーベビープロジェクト**の活動を充実させます。



③コミュニティ・産業・文化

●地域自治活動の基本である**町会・自治会活動への支援強化**とマンション管理組合等に対する支援を検討します。

●**新たな公共**の担い手との協働により地域課題を解決します。

●**国家戦略特区**を活用した新技術・新産業の育成、メディカルHongoプロジェクトなど医療機器産業の支援強化を図ります。

●観光振興、国際交流、女性活躍、コミュニティデザインなどの分野で**大学連携**を推進します。

●プレミアムお買物券などの発行により**商店街**を支援します。

●様々な**文化資源**の活用により「**文の京**」を輝かせます。



④まちづくり・環境



●**バリアフリー基本構想**を策定しバリアフリー化を促進します。

●**環境基本計画**を生物多様性も含めた総合的な計画に改定します。

●**公園再整備計画**に基づき、地域の声を取り入れた特色のある公園整備を進めます。

●大塚五・六丁目地区の**不燃化特区**事業により災害に強いまちづくりを進めます。

⑤2020年オリンピック・パラリンピックとグローバル化

●**野球・ソフトボール競技の復活**による東京ドームでの開催を強力に求めています。

●未来のアスリート育成や区内の女子サッカークラブ「**文京LBレディース**」支援などにより気運醸成を図ります。

●区有施設の多言語化対応、語学ボランティアやスポーツボランティアの育成などにより、**おもてなしのまちづくり**を進めます。

●歴史と文化を活かし**外国人向けの観光事業**を構築します。

●障害者スポーツの推進、スポーツ施設のバリアフリー化を通じ、**パラリンピック**を支援します。

●**文京スポーツセンターの大規模改修**を行います。



⑥「文の京」を輝く未来へ繋ぐために。

●**UN Women 日本事務所**のシビックセンター内設置により、男女それぞれが個性と能力を十分に発揮し、互いの違いや多様な生き方を尊重する社会を未来に繋ぎます。

●「**文京区男女平等参画推進条例**」に盛り込まれたダイバーシティの精神を施策に活かします。

●ワークライフバランスの推進など男女ともに働き方の見直しを進めていきます。

●しなやかな財政基盤の構築と、区政を支える**改革志向**の職員育成を図り、**品質志向**の区政運営を実現します。